

# S I D R

## 滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

### 《週報》

第3巻第6号

第6週(2月3日～2月9日)

発行年月日:平成15年(2003年)2月14日  
 発行:滋賀県立衛生環境センター内  
 滋賀県感染症情報センター  
 電話 077-537-3051 FAX 077-534-3936

### 1)全数報告の感染症(1類～4類)

感染症類型	疾患名	報告数 (6週)	累積報告数		平成14年報告数	
			滋賀 (6週)	全国 (6週)	滋賀	全国
1類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
2類感染症	細菌性赤痢	0	0	57	6	693
	パラチフス	0	0	4	1	33
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	47	14	3132
4類感染症	アメーバ赤痢	0	1	48	6	453
	エキノкокクス症	0	0	0	1	9
	急性ウイルス性肝炎	0	0	83	2	915
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	15	2	146
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	15	1	90
	後天性免疫不全症候群	0	1	72	6	888
	梅毒	0	1	41	4	561
	レジオネラ症	0	0	15	1	166

\*平成14年報告数の全国報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています。

### 2)定点把握の対象となる4類感染症

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								前週との比較(定点当たり患者数)
	県	大津	草津	水口	八日市	彦根	長浜	今津	
インフルエンザ	30.96	41.91	41.20	29.86	24.38	26.57	13.57	27.67	
咽頭結膜熱	0.03	0	0	0	0	0.25	0	0	
A群溶連菌咽頭炎	0.44	0.29	0	0.25	0.40	0.50	0.25	3.00	
感染性胃腸炎	3.03	5.57	6.17	1.25	0.60	3.25	0	0	
水痘	1.50	0.71	2.17	0.50	1.80	2.75	1.50	1.00	
手足口病	0.22	0.57	0	0	0.20	0.50	0	0	
伝染性紅斑	0	0	0	0	0	0	0	0	
突発性発疹	0.47	0.57	1.17	0.25	0.20	0	0.50	0	
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	
風疹	0.03	0	0	0	0.20	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0	0	0	0	
麻疹	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性耳下腺炎	0.53	0.14	0.33	0	0.20	0.50	2.75	0	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.57	0	1.00	1.00	1.00	1.00	0	0	
急性脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
成人麻疹	0	0	0	0	0	0	0	0	

全国集計などの詳細な集計結果は、国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>)において公表されています。

0 10 20 30 40  
 定点当たり患者数

### 3) 今週のトピックス

#### インフルエンザの定点当たり患者数は先週に引き続き減少傾向

定点把握の対象となる4類感染症の発生状況を先週と比較すると、水痘、手足口病等の定点当たり患者数が増加していた。また、インフルエンザ、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、伝染性紅斑、流行性耳下腺炎等の定点当たり患者数は減少していた。

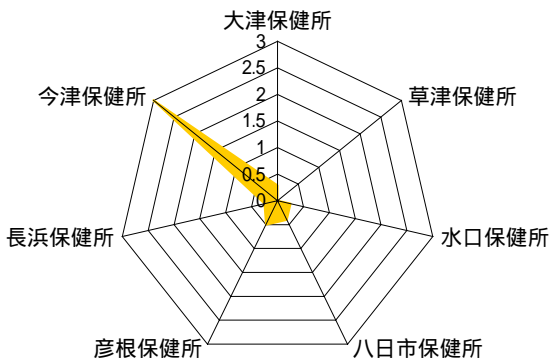
**インフルエンザ**については、定点当たり患者数が30.96となり2週間連続して減少傾向となっているが、長浜保健所管内以外の定点当たり患者数は24.38～41.91と高い値で推移しているため、今後のインフルエンザの発生動向に注意が必要です。また、インフルエンザの総合的な情報は <http://idsc.nih.go.jp/others/topics/newpage2.html>に掲載されています。

**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**については、先週より減少していますが、今津保健所管内で定点当たり患者数が多くなっています。

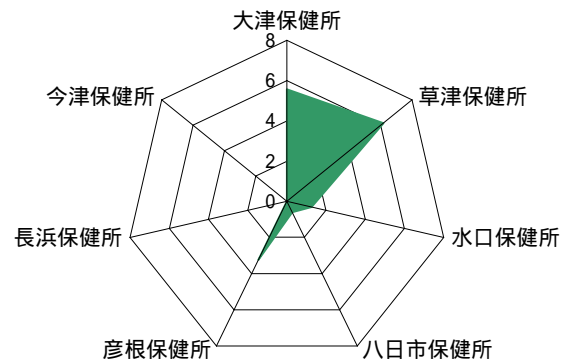
**感染性胃腸炎**については、先週より減少していますが、大津および草津保健所管内における定点当たり患者数は多くなっています。

**水痘**については、冬～春に流行するため、今後の動向に注意が必要です。  
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘の保健所管内別発生状況は下記のとおりです。

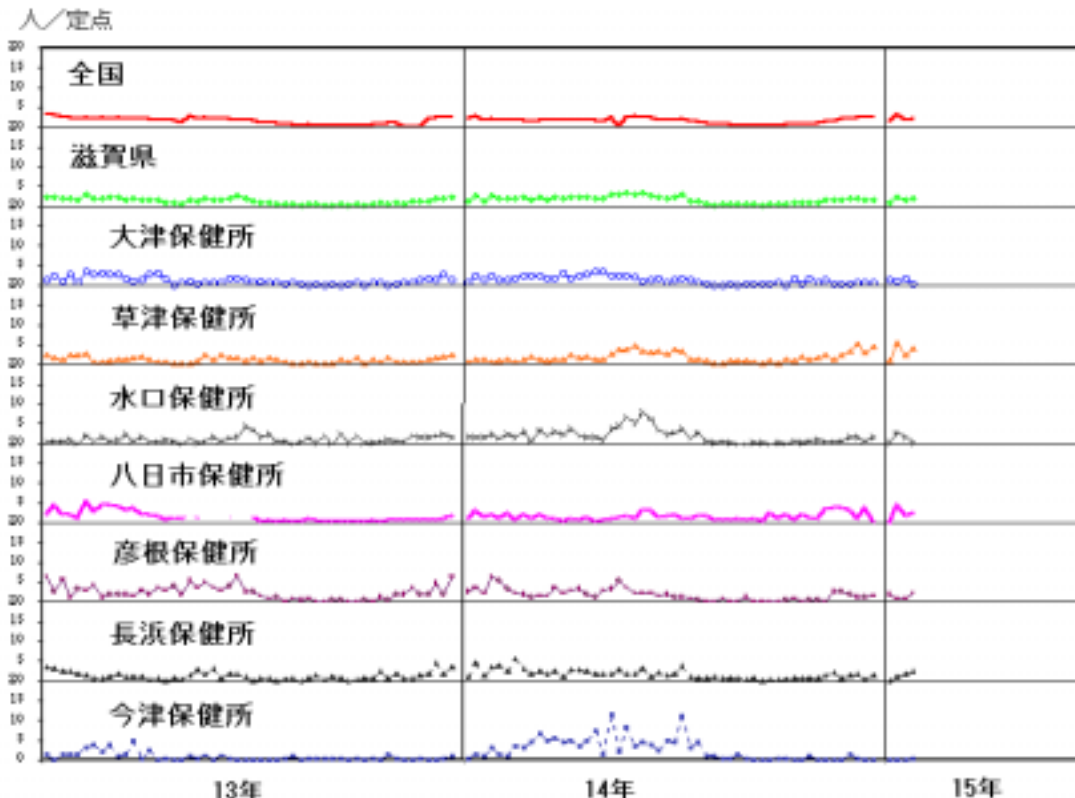
**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**



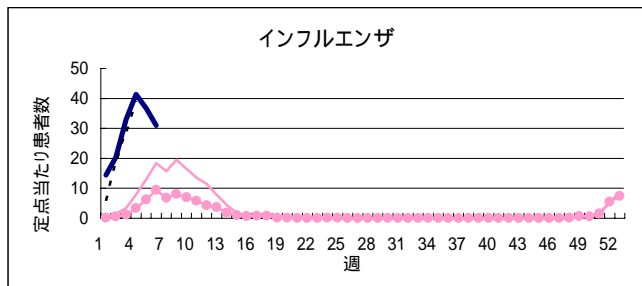
**感染性胃腸炎**



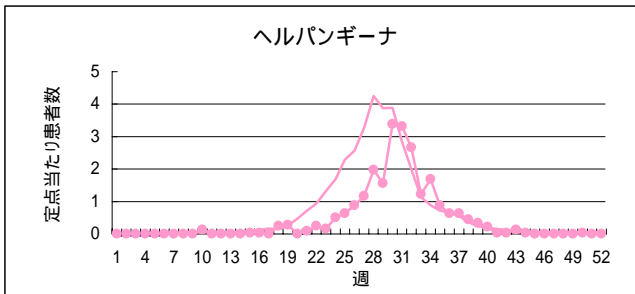
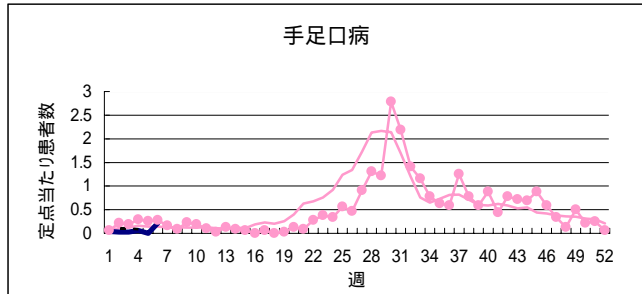
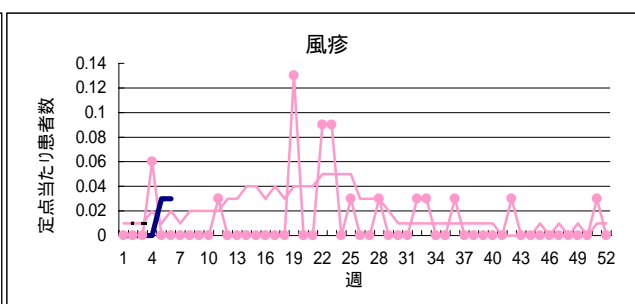
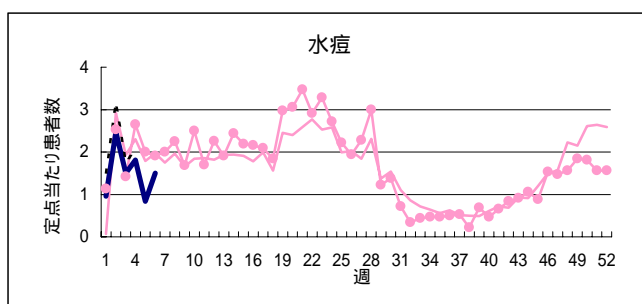
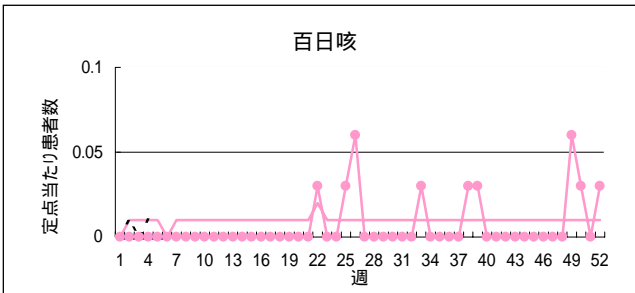
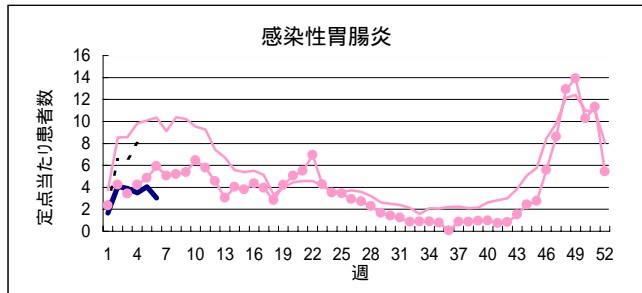
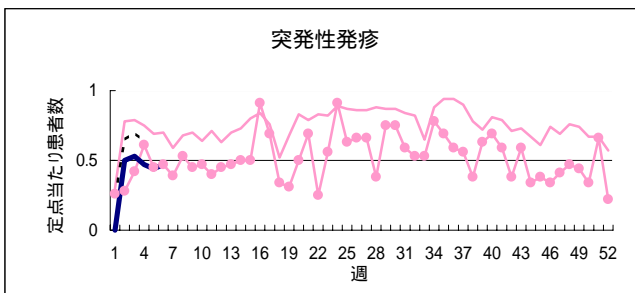
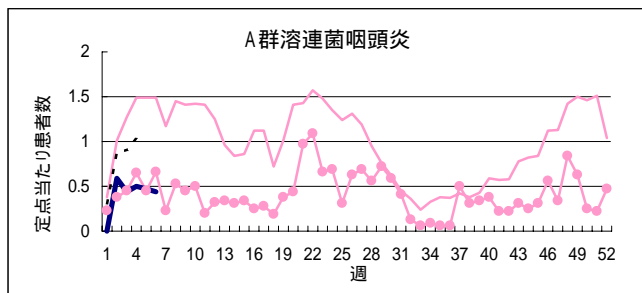
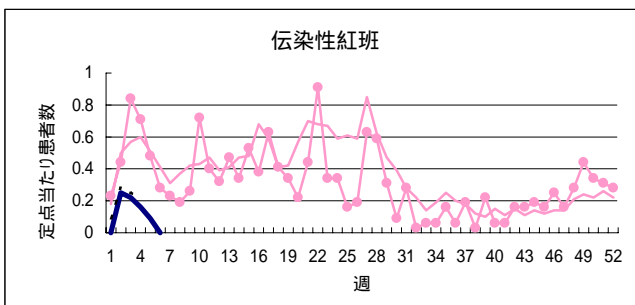
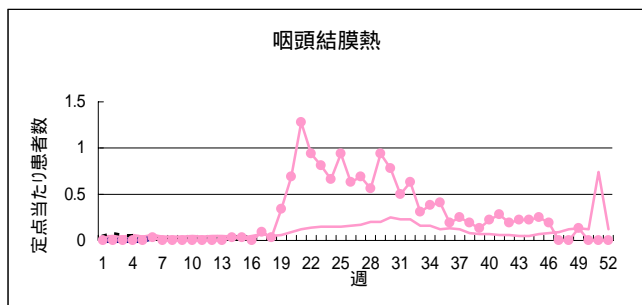
**水痘の保健所管内別発生状況 (平成13年第1週～平成15年第6週)**



# 疾病別定点当たり患者数(平成15年第1週～第6週)



H14 { 滋賀 ●—●  
 全国 —  
 H15 { 滋賀 —  
 全国 ……



# 疾病別定点当たり患者数(平成15年第1週～第6週)

H14 〔 滋賀 ●●●●●● 全国 ○○○○○○  
 H15 〔 滋賀 ———— 全国 ……………

